#### 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 東洋製罐株式会社 広島工場
- (2) 事業所の所在地 広島県三原市下北方1丁目4番1号
- (3)業種

ブリキ缶その他のメッキ板等製品製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

#### 2 計画の期間

本計画期間は、平成21年(2009)年度を基準とする平成30(2018)年度から平成33(2021)年度までの4年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1. 基本理念

東洋製罐株式会社は、お客様の信頼に応える安全・安心、魅力ある品質、環境に配慮した製品・サービスをお届けし、人類の幸福繁栄に貢献します。

- 2. 基本方針
- 1) 東洋製罐で働く一人ひとりが、お客様に満足していただける、安全・安心、魅力ある品質、環境に配慮した製品、サービスをお届けします。
- 2) 東洋製罐で働く1人ひとりが、あらゆる事業活動において、環境汚染の予防と環境負荷の低減に努めます。
- 3) ステークホルダーとの誠実な対話 (コミュニケーション) を行い、品質・環境・食品安全の向上を図るよりよい仕組みを追求し続けます。
- 4) 関連する法令と契約を順守します。

## 4 温室効果ガスの排出状況(二酸化炭素換算)

# 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )		
ガスの種類	基準年度 平成21年度	直近年度 平成29年度	
二酸化炭素	65, 580	53,937	

## 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )		
ガスの種類	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度	
二酸化炭素			

# 【その他温室効果ガス】

温室効果	温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )			
ガスの種類	基準年度	直近年度		
	平成 年度	平成 年度		
メタン				
一酸化二窒素				
その他				
温室効果				
ガス				
(HFC)				
PFC SF <sub>6</sub>				
$\left(\begin{array}{c} S & 1 & 6 \\ N & F & 3 \end{array}\right)$				

### 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO<sub>2</sub>),削減率(%)

担党は用がえの経知	基準年度 (平成21年度)	削減目標		目標年度 (平成33年度)	
温室効果ガスの種類	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	65, 580	24.0	15,739	49,841	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
メタン					
一酸化二窒素					
その他 温室効果ガス					
温室効果ガス 実排出量総計	65, 580	24.0	15,739	49,841	
温室効果ガス みなし排出量					
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は排出量年2.0%の削減率 電気は中国電力(株)の実排出係数を使用				

※ 削減率(b) = (c)/(a)×100 削減量(c)=(a)-(d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標:

単位:排出量(t-CO<sub>2</sub>),原単位量(kg等),削減率(%)

	基準年度 (平成 年度)		原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		度)	
温室効果ガスの種類	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) =  $\{(c) - (g)\}$  /(c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

### 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	LNGの使用量を8%削減	・オーブン搬送コンベアの材質変更に よるガス使用量の削減 ・プレヒートオーブンの使用の見直し ・長時間停止時のオーブン関係低燃焼 化
2	電気使用量の削減	電気の使用量を8%削減	・高効率の冷温水発生機への更新によるエネルギー使用量の削減 ・受変電設備の省エネタイプの変圧器への更新によるエネルギー使用量の削減 ・照明設備のLED化 ・長時間停止の生産設備の電源OFF ・アシストエアーの省エネノズルへの変更及び電磁弁化
3			
4			

<sup>※</sup> 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えるこ と

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

### ○ その他の取組み

_			
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物総排出量の削 減	年500t未満	・汚泥発生量抑制による廃棄物総量5 00t未満
2			
3			

<sup>※</sup> 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

# 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

## (1)推進·点検体制

